

院長	副院長	副院長	事務部長	看護部長	主査

## 第 68 回 地域協議会（地域医療支援委員会）概要

【日 時】令和 6 年 10 月 22 日（火） 19：00 開始

【場 所】人吉医療センター3 階講堂、オンライン

【出席者】高森 啓史 （公的病院企業長）  
 近藤 浩之 （球磨郡医師会理事）  
 瀬戸 弘 （人吉市歯科医師会）  
 山村 礼二 （球磨郡歯科医師会）  
 河内 謙介 （西諸医師会理事）  
 寺田 歩 （伊佐市医師会理事）  
 村田 圭介 （人吉球磨薬剤師会会長）  
 木脇 弘二 （熊本県人吉保健所）  
 松尾 美紀 （人吉市役所健康福祉部長）  
 寺岡 公美 （伊佐市保健課長）  
 瀧田 尚史 （人吉市教育委員会）  
 薬師寺 俊剛 （人吉医療センター院長）  
 牟田 大助 （人吉医療センター副院長）  
 石神 哲郎 （人吉医療センター歯科口腔外科センター長）  
 告吉 ゆかり （人吉医療センター看護部部長）  
 山脇 淳 （人吉医療センター事務部長）  
 花田 浩二 （人吉医療センター総務企画課）  
 久保田 智子 （人吉医療センター診療情報管理室）  
 山田 一裕 （人吉医療センター医療福祉連携室）  
 田頭 隼人 （人吉医療センター医療福祉連携室）

【欠席者】友永 和宏 （人吉市医師会会長）  
 井手平 慎一 （えびの市健康保険課長）

（敬称略 計 22 名）

【資料概要】

一、 開会（事務局）

二、 新議員挨拶

三、 議長挨拶

四、 議題

① 登録医承認

新規登録：8名

人吉市	愛甲産婦人科医院	愛甲	碧 先生
	愛甲やすらぎ・ひふ科医院	愛甲	枝里子先生
	仁誠会クリニック人吉	田尻	哲也先生
	ひとよし西村醫院	西村	卓祐先生
	ひとよし西村醫院	西村	有香先生
	平井整形外科リハビリテーションクリニック	平井	奉博先生
伊佐市	県立北薩病院	有村	仁志先生
その他	国保健康保険西米良診療所	奥野	綾子先生

登録削除：8名

人吉市	愛甲産婦人科医院	愛甲	朋 先生
	とやまクリニック胃腸科肛門科	西村	卓祐先生
	たかみや医院	高宮	登美先生
	平井整形外科リハビリテーションクリニック	小林	達樹先生
	万江病院	万江	淳夫先生
	万江病院	原	賢一先生
伊佐市	県立北薩病院	藺田	剛嗣先生
その他	国保健康保険西米良診療所	椎葉	良太先生

登録医総数：242名

出席の議員より承認を得た

② 「JCHO 人吉医療センターの目指すところ」

JCHO 人吉医療センター院長 薬師寺 俊剛

別紙参照

## 五、意見交換

### 地域医療機関訪問時のご意見

- 画像検査(CTなど)について八代に紹介する場合がある。  
(回答)→256列CTと64列CTとの2台体制、MRIも3.0テスラと1.5テスラの2台導入、RI装置も新しい装置に更新されており、PET-CT、デジタルマンモグラフィ、その他精度の高い画像検査にて幅広いニーズに対応可能。放射線科常勤医師2人、診療放射線技師20名の体制を維持し、CT、MRI、RIの読影はY's Readingの中山先生に遠隔で応援していただくことで検査や読影など迅速に対応しております。画像検査のみでも良いので当院へご紹介いただければと思います。
  
- 紹介患者の処方薬が人吉医療センター入院によって多量に減らされる。入院の状態だけではなく、在宅での生活状況などを考慮して処方を行っていることを理解してほしい。  
(回答)→当院ではポリファーマシーの問題に取り組んでいる。害になるような多剤処方を改善する取り組みにて、開業医の先生方にもご理解いただくようご案内していく予定。  
ただ、適正な処方について削減することがないように、主治医や薬剤部、開業医の先生方との連携にて慎重に薬剤調整を行っていきたいと考える。その旨、院内の関係部署と確認した。
  
- 皮膚科の予約待ちが長く、すぐに対応いただけない。  
(回答)→大学の医局などへ常勤の皮膚科医2名を要請しているが、しばらくは困難な様子。  
同時に形成外科などとも連携しながら対応できるよう検討していく。
  
- 人吉医療センター耳鼻科の対応状況から紹介できていない。熊大医局などからの耳鼻科医師増員を希望。  
(回答)→大学の医局などへ耳鼻科医増員を要請しているが、しばらくは困難な様子。医師へも対応などにつき継続して指導していく。
  
- 人吉医療センターにおける産科・周産期医療の再開を希望。人吉医療センターの産科再開を望む。  
周産期医療は出血など急変時対応から困難。えびの市の病院も産科は行っていない。

(回答)→大学の医局などへ要請しているが、しばらくは困難な様子。  
現在、応急的な輸血、熊本総合病院、熊本大学病院への搬送など連携構築に着手している。

●伊佐市の患者にも脳卒中・大腿骨頸部骨折など人吉医療センターとの連携パスを使用したい。

(回答)→可能であれば連携パス使用を進めていく予定。

●心カテの患者を紹介しても大丈夫なのか？最近、受け入れ件数が減ったのではないか？

(回答)→R6年度は済生会熊本病院から実績のある医師が着任しており、十分に対応できる。

議員からの意見

薬師寺議長：

「4月に登録医を訪問して様々なご意見をいただいた。  
皮膚科、産婦人科は、大学へ働きかけを行うも厳しい状況。今後も継続していく。」

近藤議員：「整形外科で、骨折後に当院へ手術目的に紹介。手術後にリハビリ転院をした後、紹介元（かかりつけ）に戻ってこない。リハビリ転院先で留まっている現状がある。」

事務局：「一部で入院時でかかりつけ医の把握を行い、かかりつけ医へ戻るよう調整している。」

近藤議員：「今後、それを全科共通して実施してほしい。」

六、 その他

年4回の開催になるため、次回12月、1月に開催予定  
その後、今年度中にもう1回開催予定

七、 閉会